

しほろ社協だより

ふくしの心

令和2年10月

92号

赤い羽根共同募金スタート!



安心・安全・福祉のまちづくり



発行：社会福祉法人 土幌町社会福祉協議会
〒080-1214 土幌町字土幌西2線167
TEL(01564)5-2008 FAX(01564)9-5090

この社協だよりは、共同募金(配分金)の一部を充当して作成しています。



10月1日▶12月31日

令和
2年度

赤い羽根共同募金



10月1日から全国一斉に募金運動が始まりました。
皆様のご協力をお願いいたします。

募金の方法と種類



ー赤い羽根共同募金ー

10月1日～
12月31日

日本で共同募金のシンボルであります「赤い羽根」を使うようになったのは、昭和23年の第2回目からです。当時、アメリカでも水鳥の羽根を赤く染めて使っていたことから、それにヒントを得て不要になった鶏の羽根を使うようになりました。「赤い羽根」は、寄付をしたことを表す「共同募金」のシンボルとして、幅広く使われています。今年も皆様のご協力をお願いします。なお、募金の方法は主に次の2つです。

一般募金

10月から、一戸あたり300円を目安に各駐在員に取りまとめをお願いしている募金です。

特別募金

11月から各地区の募金委員の協力を得ながら取り組む募金です。農村部や法人は従来通りの方法で行いますが、市街地は、封筒募金により実施いたします。なお、封筒募金の方法は次の通りです。

- ①11月に入りましたら市街地の全戸に募金封筒を配布いたします。
 - ②募金に協力いただける方は、募金委員が訪問された際に封筒にお金を入れてお渡しください。（都合により募金委員が訪問されない場合は、各駐在区の募金委員までお届けください。）
- ※500円以上の募金をしていただいた方は、明年発行の社協だよりで紹介させていただきます。なお、匿名を希望される場合は、募金の際にお申しください。

ー歳末たすけあい募金ー

12月1日～
12月31日



「歳末たすけあい運動」は、共同募金運動の一環として地域住民やボランティア、民生委員・児童委員、社会福祉施設、社会福祉協議会等の関係機関・団体の協力のものと、様々な福祉活動に役立てられます。

税金の控除を受けられます

期間中にいただいた募金につきましては、所得税と住民税より一定の基準において控除を受けることができます。法人については全額損金算入ができます。個人の方については以下の通りです。

○所得税

寄付金額(年間所得の40%を限度とする額)
－2千円

○住民税

{寄付金額(年間所得の30%を限度とする額)
－2千円}×10／100

士幌町限定寄付金付バッジができました!

現在、士幌町共同募金委員会事務局では募金バッジ（士幌町限定・北海道限定・初音ミク）を500円の募金につき1つ差し上げております。制作費を除いた金額が共同募金に寄付されます。数には限りがありますのでお早めに！事務局（福祉センター）または道の駅ガチャガチャで取り扱いしています。

士幌町限定(オリジナルキャラ)



ペコえもん



ポテちら美

北海道限定(シロクマ)



初音ミク

募金はこうに使われます

昨年、町民の皆様から頂いた募金(2,663,284円)は、今年度さまざまな事業に使われています。



助成先	事業名	助成額
士幌町社会福祉協議会	おたのしみ昼食会開催事業(年間4回開催)	200,000円
	移送サービス事業(町立病院、帯広厚生病院などへ移送)	100,000円
	広報発行事業(社協だより年間3回発行)	330,000円
	子どもの居場所づくり支援事業(小学校PTAや子どもの町活動支援)	160,000円
	地域ふれあいひろば開催事業	200,000円
	配食サービス事業(月～金曜日)	130,000円
	ふれあいサロン支援事業(町内16カ所のサロンを支援)	859,284円
身体障害者士幌町分会	社会参加交流事業(障がい者スポーツ大会参加、在宅障がい者交流会)	20,000円
老人クラブ連合会	社会奉仕活動事業(研修会開催、生きいき交歓会等)	50,000円
ことばを育てる親の会	体験学習	30,000円
ふまねっと・しほろ	ふまねっと運動教室	50,000円
しほろそば打ち同好会	そば打ち交流事業	30,000円
愛風会	夏まつりふれあい交流事業	40,000円
士幌町障がい者支援の会	障がい者利用者活動事業	30,000円
カトリアの会	※助成決定はされましたが、辞退されています	20,000円

募金委員が決まりました

今年度の募金委員は下記の通りです。

募金委員が訪問した際には是非ご協力をお願いします。



(敬称略)

	担当地区		氏 名			担当地区		氏 名						
北町	高若若新	徳葉第一東生	星屋尚司 藤澤隆夫 水上良明 瀬戸秀樹 中尾啓次郎	西町	平原第一いこい並松	小川淳 牛渡ひろみ 中津井良信 石丸揚一朗	佐倉	佐倉北区1班 佐倉北区2班 佐倉北区3班 佐倉南区1班 佐倉南区2班 佐倉南区3班	篠原泰好 塩谷将邦一 大友慎旭 丹治実重 阿部田政重					
	中町	仲本神互中大大大通	通苑譲央通西		北出淳一 平井恵美子 神野則夫 西野昌法一 尾形憲一 辻勉保	中士幌		中新南西北 中北団地 中東団地 明生進和 共勝中士幌・文化	中村幸雄子 瀬口豊米明 中川豊潤 小西一寿一 中波俊範雄 後藤和美	上居辺	西居辺北共成・柏・柏野	藤田憲直央一 吉坂藤田隆		
		南町	睦睦美南緑柏みどり		西南園地光葉り			辻修 小畑直人幸 鷲見詔悟 大久保克 関谷宜憲康 宮町憲一	士幌北	百戸1班 百戸2班 平和 北1区(3班) 北1区(1・2班)	鎌田尚吾 竹腰一康樹 竹迫真作子 赤間勇利子	下居辺	友高砂・下二澄陽	田川寿幸 二井欽造 酒井広樹宏 瀨口隆一
									士幌南	西士幌・常盤・実勝 南旭区 南1区	大野文也 高橋昌幸 脇原喬弘	北中	吉中音野更益	河江信全暢 古田敏美 原公雄
								新田	新栄進・コマクサ 新田第二・第一	瀬戸敏公新 千葉戸新				
								西上	西上	東井尚輝 中井謙次 遠藤哲也				

皆様のあたたかい お志ありがとうございます さまざまな福祉の充実に幅広く活用させていただきます

土幌町社会福祉協議会にご寄附

令和2年6月1日～令和2年9月30日
(寄付順／敬称略)

住 所	寄 付 者	金額(単位：円)	摘 要
共 進	寺 町 雅 人	100,000	母の逝去に際して
音 更 町	堀 光生・宗岡和子	30,000	母の逝去に際して
常 磐	平 田 定 之	200,000	父の逝去に際して
南 旭 区	小 坂 正 志	100,000	父の逝去に際して
平 原	熊 谷 光 子	50,000	夫の逝去に際して

本会では、皆さまの善意によって、幅広い福祉活動に取り組んでおり、お寄せいただいた寄付金は身近な地域福祉事業に役立てられております。暮らしやすいまちづくりのために、是非ご協力をお願いします。なお、2,001円以上のご寄付は、**所得税及び住民税控除の対象となります**。ご協力いただける方は、総合福祉センター内 土幌町社会福祉協議会へ。この制度による控除を受けようとする場合には、**役場で確定申告を行う必要があります**。

※お詫びと訂正 しほろ社協だより「ふくしの心」91号8ページの寄付者紹介におきまして、富田忠雄様の摘要欄に母の逝去に際してと記載するところ、父の逝去と記載しておりました。お知らせいたしますと共に謹んでお詫びし、訂正させていただきます。

「地域ふれあいひろば2020」開催中止のお知らせ

11月21日に開催を予定しておりました「地域ふれあいひろば2020」ですが、日本国内において新型コロナウイルスの感染が拡大している状況を鑑み、参加者および関係者の皆様の健康、安全面を第一に考慮した結果、開催を中止することといたしました。

楽しみにしていただいた皆様には大変申し訳ありませんが、何卒ご理解の程よろしくをお願いいたします。

辞任挨拶

このたび、一身上の都合により令和二年十月九日付をもって、社会福祉法人土幌町社会福祉協議会の会長を辞任いたしました。
平成二十五年に就任以来、皆様には格別のご指導・ご鞭撻を賜りましたことを衷心より厚く御礼申し上げます。

土幌町では少子高齢化が一段と進み、家族環境や社会構造も変化し、家族や住民同士のつながりが薄れ、支え合いの機能が問われています。特に高齢者福祉への取組は、地域住民や老人クラブ、ボランティアの方々、各サロンの関係者の方々、民生・児童委員、福祉関係者の皆様のご協力とご支援を賜りながら地域福祉の推進に努めて参りました。「誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるまちづくり」にむけ、微力ながら精一杯取り組んで参りました。

町民の皆様には常日頃から福祉に対する深いご理解とご協力、ご支援をいただき心より感謝申し上げます。また、会長として、多くの方々の出会いの中でたくさん学ばせていただき、心より感謝申し上げます。

最後になりましたが、任期中中となりご迷惑をおかけしますが、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。辞任の挨拶とさせていただきます。

鎌田弘美

就任挨拶

このたび、令和二年十月九日に開催されました理事会において、土幌町社会福祉協議会会長に選任されました。就任に際しましては、その職責の重大さを痛感し、身の引き締まる思いであります。

近年、少子高齢化の進行に伴う一人暮らし高齢者の増加、社会的な孤立の問題や経済困窮世帯への対応等、公的なサービスだけでは解決できない諸問題が増えてまいりました。

私は、社会福祉協議会の理念でもございます「誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるまちづくり」の実現に向け、地域福祉を推進する中核的な民間福祉団体として、町民の皆様方のお力添えを頂きながら、その使命を十分に発揮できますように、役員・職員一丸となり、精一杯の努力を重ねて参りたいと存じます。

どうぞ、前会長と同様に町民の皆様方のご理解とご協力、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。就任の挨拶といたします。

佐藤弘夫